

## 令和3年度 第1回まちづくり総合委員会 議事要旨

開催日時:令和3年8月10日(火)14時00分～16時30分

開催場所:北広島町まちづくりセンター きたひろホール

出席者 :三浦委員長・小笠原副委員長・砂原委員・長田委員・織田委員・長本委員・荒川委員・小笠原委員・小川委員・宇川委員・寺田委員・友田委員  
・山本委員・板倉委員

事務局 :財政政策課 植田課長・高野係長・和泉・山岡

欠席者 :加計委員・田坂委員・上原委員・伊藤委員・藤田委員

議事 1 令和2年度実施事業の評価・検証について

2 第2次北広島町長期総合計画 骨子(案)について

### ■前期計画5年間の評価・検証について

議事に入る前に、次の事項について、委員から質問・意見が出されました。

質問・意見等	回答・補足説明
① 前期全体を渡っての評価ではなく、前年度のみでの評価であるということか。	① 長期総合計画・総合戦略の進捗にあたり、前年度の評価をしていただくことを趣旨としている。この趣旨にもとづき、令和2年度における個別事業の進捗状況について、成果指標進捗状況調書をもとに評価をお願いする。
② 達成困難なことも含めて意見が出るが、今年度中に何らかの反映をするのか、あるいは後期の基本計画に反映をするのか。	② 前年度の評価を継続して毎年度の評価を行いながら、今年度を含め、以降の実施計画の検証・見直しに結び付けていくと考えてほしい。令和2年度までの評価については、事業実施担当課へフィードバックできるため、本年度中に策定する後期基本計画への反映をすることができたらと考えている。
③ そもそも前期計画5年間の評価・確認はしていないのか。全体としてどうだったのかという評価を踏まえる必要があらうかと思う。前期のチェックを踏まえて後期というふうにおさえていかないといけない。	③ 後期基本計画の策定にあたっては、前期基本計画の成果指標進捗状況についての評価・検証を踏まえることが必要である。ただし、前期基本計画の計画期間は、平成29年度～令和3年度の5か年であるため、計画最終年となる令和3年度の評価は翌年度以降となる。

議事1 令和2年度実施事業の評価・検証について

令和2年度実施事業(第2次長期総合計画・総合戦略、地方創生推進交付金事業)の内部評価について、プロセスや、次年度の予算の使い方、改善への視点を含めた総合的な評価として、委員から多面的な意見を出していただきました。

施策分野ごとにつぎの3つの観点で整理を行っています。それぞれの質問等に番号で表しています。

- ①…R2年度の取組状況 ②…成果及び課題について ③…R3年度の取組の方向性

長期総合計画や総合戦略の進捗状況、事業評価・検証については、事業担当課による内部評価の客観性を深めることで効率的な施策の改善を図ることを目的としています。

(1)第2次長期総合計画・総合戦略の評価・検証について

■施策分野 I みんなで創造する実りと活力のあるまち

観点	質問・意見	回答・補足説明
③	<p>シカやイノシシがとて多くなった。あまりにもたくさん出る。</p> <p>「(2)林業・水産業の振興、「里山林の整備」について、山の手入れとともに、山に帰ってもらうような対策が将来的にずっとできるように、後期計画や今後の方針にも入れてもらいたい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 「里山林の整備」については、ひろしまの森づくり事業における「森づくり交付金事業(里山林対策)」を活用して、里山林整備事業(景観保全・バッファゾーン整備等)、里山保全活用支援事業(炭窯整備等)、森林・林業体験活動支援事業(木育等)、里山活用・保全活動支援を行っている。</p> <p>ひろしまの森づくり事業については、第3期が令和3年度までとなっており、県に対して第4期として継続して事業を行うように、強く要望している状況。</p> <p>今後とも里山林整備は山の大切さの認識・有害鳥獣対策を含めて重要であるため、ひろしま森づくり事業等を活用して取組みを進めていきたいと考えている。</p>

観点	質問・意見	回答・補足説明
②	<p>学校給食地産地消促進事業の成果で、「関心を高めることができた」「感謝の気持ちを育むことができた」とあるが、実際に調査をしているのか。児童が本当に感じているのか。</p> <p>受け手を常に意識した成果として見なければ意味がない。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 地場産物の活用については、地域の生産者との連携や農業体験など教科等との連携を図り、また、給食献立を教材として活用するといった食に関する指導を行っている。</p> <p>こうした取組により、食べ物を大切に、残さず食べることが身につけているということが、児童・生徒が日々食べている給食の食べ残しの量が少ないことから分かる。</p> <p>また、現場の教職員による児童・生徒との対話や関わりの中で、「地域の食材」や「地域の伝統的な食文化」、「行事にちなんだ料理」についての知識や思いについて、話を聞くことができています。</p>
②	<p>林業についてもいえるが、本当に意識の高揚につながったのか、啓発につながったのか。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 ひろしまの森づくり事業は平成 19 年に始まり 14 年が経過した。本事業は、手入れ不足の人工林の整備及び集落や田畑に隣接した里山林の間伐整備等、多面的な事業内容であることから、町広報や町ホームページ及び農林業振興資料において事業啓発に積極的に取り組んだ。</p> <p>森林整備を行うことで、里山環境整備や有害獣対策に一定の効果が見られるとして、森林所有者からの評価も高く、継続した事業への取り組みや地域での取り組みに発展しており、取り組みに対する意識の高揚に繋がったと考える。</p> <p>今後とも事業の周知等を行い、里山林整備等の事業を行っていきたいと考える。</p>

観点	質問・意見	回答・補足説明
③	<p>町内企業相談件数等の目標に対して、商工会という組織との連携をしっかりとってほしい。商工観光課が数少ない人員で自分たちがやらないといけないという形ではなく、組織を利用して共同でやることでお互いに生きると感じている。</p> <p>連携という部分が欠けているのではないか。</p> <p>令和3年度 of 取組の方向性には「商工会と連携して」とあるが、具体的にはみえていないようなので、もう一步進めていく必要がある。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 商工観光課(商工振興係)の人数では、専門性の高い商工振興事業や施設管理等の様々な業務を行うのは、ご意見のとおり非常に厳しいものがある。そのため、北広島町商工会とは様々な事業において商工振興に係る連携を常にとっており、具体的な例としてはつぎのとおりである。</p> <p>創業相談については、町に来られた相談者の相談内容に応じて、創業のノウハウを持っている北広島町商工会や国のよろず支援等へお繋ぎすることで対応している。</p> <p>また、ビジネス創造支援補助金制度においては、商工会には事業計画作成段階から申請者に関わり、商工会の意見書を添えて申請していただき、採択された事業についての進捗状況や創業後の状況確認等、深く関わっていただいている。</p> <p>その他、創業に関わらず、商工会が相談や事業者支援をしている中で把握した事業者ニーズなどの情報を町と商工会との月1回の定例会等で共有しており、施策に関わる意見交換等も行っているため、引き続きしっかりと連携を取り、商工業の振興を行っていきたいと考えている。</p>

■施策分野Ⅱ 誰もが愛着を持って暮らせるまち

観点	質問・意見	回答・補足説明
③	<p>「(1)交流を生むまちの魅力づくりと観光振興」のところで、進捗状況がすべて「目標達成が困難」である。原因としてコロナ禍、それをふまえての対応ということであるが、新しい形での交流ということが、どこまで踏み込んで考えられているのか、取組の方向性からは見えない。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止や延期、又観光施設の時間短縮営業や休業を余儀なくされている中、北広島観光プロモーション実行委員会においては、可能な範囲で町内観光事業者とともに実施される近隣のイベントや行事等へ積極的に参画し、プロモーション活動を実施している。</p> <p>また令和4年度から8年度までの「第二次北広島町観光振興まちづくり計画」を策定中で、コロナ禍を踏まえた、例えば近隣からでも本町の自然を活用した誘客事業の計画等を作成し策定委員会へ諮問する予定。</p> <p>民泊体験・農山村体験についても、予定されていた体験事業が緊急事態宣言等により延期または中止となっている中、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会を中心に他の協議会メンバー8 地域と連携し、昨年度からコロナ禍の状況により民泊受入を見合わせ、集団泊や日帰り体験を新たに取り入れる等、体験型修学旅行の誘致継続・拡大に取り組んでいる。</p>
③	<p>国の地方創生に関連した取組や新型コロナウイルスがある中でのニューノーマルに対応したこれからのまちづくりということで、新しい情報、新しい方向性が打ち出されているが、まだまだ反映しきれていないのではないかと。新型コロナウイルスへの安全を確保するためにソーシャルディスタンスなどだけの対応ではなくなってきており、最新の動向を踏まえ、町が出したデジタルに関する新しい方向性を含めた新しい関係人口の作り方も検討してほしい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 令和3年4月に策定した「北広島町行政サービスDX戦略」における8つの重点課題において、「アプリケーションツールを活用した行政サービスの提供」を掲げており、スマートフォンアプリを有効活用し、暮らしの情報や防災、行政情報などの積極的な配信を行い、誰でも使える情報サービスを展開することを目指している。アプリケーションツールによるタイムリーな情報配信や手続きができる仕組みを構築し、観光の「交流人口」に限らず、北広島町と関係者がつながり、北広島町の助けとなる行動へと結びつく価値観を持ってもらえるよう、活用していきたい。</p>

観点	質問・意見	回答・補足説明
②	<p>「Uターン奨励金の交付件数」について、課題として「若年層のニーズに沿った施策」とあるが、ニーズをどう測るのがわからない。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》若年層に対してヒアリングを行いニーズについて調査を行っている。ニーズとしては、移住相談の充実や移住前後のサポート体制の構築等が求められている。また、全国的なUターン等の動向や傾向、他の自治体の制度などを参考に制度を検討する。</p>
①	<p>「子育てに不安や負担を感じない」と思う人の割合について、アンケート調査を行わない理由はあるのか。</p> <p>アンケートを行ってほしい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》既に、平成 30 年度に、第 1 期北広島町子ども・子育て支援事業計画(平成 27～令和元年度)の検証と第 2 期計画(令和 2～6 年度)を策定するため、アンケート調査を実施した。</p> <p>よって、第 2 期計画の検証と第 3 期計画(令和 7～11 年度)を策定するため、次回のアンケート調査は、令和 5 年度に実施予定としている。</p>
②	<p>「将来、北広島町に住みたいと思う中学校3年生の割合」が少ない中で、いろんな要素が絡まってだと思われるが、なぜ住みたいと思わないのかを発見しないと施策が打てない。</p> <p>上記指標のアンケート項目について、学校現場としては割合が上がらないことが悩みである。この項目で町に対する愛着が果たして測れるだろうか。住まなくても貢献したい子どもが多いのかもしれない。問う内容も変えていく必要があるかもしれないし、住みたくない理由を聞いてみることも良いのかもしれない。私たちが課題としていることについても、子ども達目線に変えてほしいこと、夢や希望が見えてくるのではないだろうか。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》「住みたいと思わない割合」が多い理由について個別に調査していないのでわからない。</p> <p>「ふるさと夢プロジェクト事業」は、町を離れていてもふるさと北広島町を大切に思い、貢献できるような人材の育成に努めていきたいと考えており、アンケートの問いについては再検討したい。</p>

■施策分野Ⅲ 心身ともに健やかで安心して暮らせるまち

観点	質問・意見	回答・補足説明																							
①	「地域包括ケア推進のための在宅医療・介護推進会議回数」について、令和2年度の対応として「新型コロナウイルス感染症の対応について、医療と介護で情報共有、対応の検討を行った。」とされているが、現状、医療介護の対応等、現在どんな進み具合なのか。	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 新型コロナウイルスワクチン接種が医療従事者、介護施設入所者等優先接種対象者が速やかに接種できるように、医療機関・介護施設等・町が連携し、順調に接種を終了することができた。高齢者・障害者等希望される方が接種できるように、関係機関と連携し、希望される方がほぼ接種できている。※</p> <p>感染症対策としては、医療機関・介護施設等の感染対策の状況の確認や不足物資の配布などを行った。クラスターとならないように、医療機関・介護事業所等と情報共有し対応できる体制となっている。</p> <p>※北広島町における新型コロナウイルスワクチン接種状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th colspan="2">1回目接種</th> <th colspan="2">2回目接種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">接種人数および接種率</td> <td>13,310 人</td> <td>80.59%</td> <td>10,995 人</td> <td>66.58%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内 訳</td> <td>65歳以上</td> <td>6,440 人</td> <td>90.27%</td> <td>6,280 人</td> <td>88.03%</td> </tr> <tr> <td>12歳～64歳</td> <td>6,870 人</td> <td>73.23%</td> <td>4,715 人</td> <td>50.26%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(令和3年9月14日時点)</p>	区 分		1回目接種		2回目接種		接種人数および接種率		13,310 人	80.59%	10,995 人	66.58%	内 訳	65歳以上	6,440 人	90.27%	6,280 人	88.03%	12歳～64歳	6,870 人	73.23%	4,715 人	50.26%
区 分		1回目接種		2回目接種																					
接種人数および接種率		13,310 人	80.59%	10,995 人	66.58%																				
内 訳	65歳以上	6,440 人	90.27%	6,280 人	88.03%																				
	12歳～64歳	6,870 人	73.23%	4,715 人	50.26%																				
③	研修会が実際に開催できそうなのか、難しいのであれば違った形が必要ではないか。	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 感染状況に応じて、対策を講じて開催するか、オンライン等の違った形での開催を検討している。</p>																							

■施策分野Ⅳ やすらぎと便利さを感じられるまち

観点	質問・意見	回答、補足説明
③	「北広島町道路整備計画に基づく町道整備率」については、予算不足であるとしている中で、このままの目標値であれば、おそらく今年も目標達成困難になるのではないかと見えているのに、取り組むのはどうなのか。	<p>国・県の補助を受けて整備する事業については継続して行っている。全額町費で進める事業は、今現在、凍結をさせていただいている。従って、今年度も目標達成が困難となる可能性は高い。維持修繕については出来る限り対応していきたい。</p>

観点	質問・意見	回答、補足説明
②	<p>「(1)災害や緊急時に強い地域社会の実現」の項目について、現在の消防団員数はどのくらいか。</p> <p>なり手が無く、減ってきている。せめて役場の方が入ってほしい。一時、企業にも頼んだことがあるが、難しい。</p> <p>安心・安全のために、若い人が入ってもらえるよう努力することも必要なのではないか。近年は、いつどのような災害がおこるか分からない状況であり、充実したほうがよい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》定数 720 人に対し実員数 689 人(R3.4.1 現在)である。</p> <p>第 2 次長期総合計画策定時(平成 28 年度)から 67 人減少している。</p> <p>役場職員 202 人(R3.4.1 現在 本庁・各支所 男性 127 人・女性 75 人)の入団状況は、男性 62 人(48.8%)、女性 0 人(0%)である。</p> <p>随時、現役団員により地元の若い方の勧誘に努めているが、生業を理由にされたり、活動に対して共感が得られなかったり、さらにその家族にお願いしても説得していただけないなど、厳しい状況が続いている。</p> <p>同じく女性消防団員は必要と考えている。現在、女性消防団員の加入が進んでいないのは、①消防団の活動があまり知られていないこと、②女性消防団員の役割が明確になっていないことなどが理由と分析しており、今後、改善すべき点と考えている。現役女性団員 2 名の意見を取り入れ役割を明確にし、さらに消防団の活動を積極的にPRしていく。</p> <p>災害に強いまちづくりを進めていくためには、地域社会全体で消防団員の確保を考えていかななくてはならない。さらには、消防団だけでなく自主防災組織等の自律的な防災活動を促進する必要がある。災害時における避難所運営に中高生が積極的に携わったという好事例が報道されるなど、中高生は防災の担い手として期待している。現在、町では「きたひろ学び塾～With」を通じて中高生への防災学習を提供している。今後も学教教育と連携し、中高生への防災学習を充実させ、発災時に主体的な防災行動ができる中高生を育成し、家庭の中での防災リーダー・次世代の地域防災の担い手を目指していく。</p>
③	<p>大雨のとき、自主防災組織は機能していたか。自主防災組織がないといけないということを認識してもらうため、実際に地域でどういうことが行われたか確認して、うまく動けたところの事例は広めていってほしい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》8 月の台風から始まった災害対応の経験や事例は風化させることのないように伝えていかなければならないと考えている。新型コロナウイルスの影響で難しい状況ではあるが、出前講座(防災)等を通じて、避難所運営された組織の活動等を紹介していく。</p>

(2)地方創生推進交付金事業の評価・検証について

■スポーツをキーワードとした地方創生事業

質問・意見等	回答、補足説明
<p>スキーが今までの産業としてあったが、それが厳しい中でソフトテニスなどに予算を傾けることについて、<u>特定のエリアではなく、全町的な波及効果</u>があるからということだったかと思う。そこが無いと、たまたま予算措置したエリアだけの恩恵になってしまうかなと思う。</p> <p>担い手育成総合事業は、人材のことであり全体に広がるが、この事業は、<u>エリアが限定してしまっている中で、どう町全体に対して波及させるか</u>というのがないと、地域によって不満も出てくるかと思う。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》<u>本町全体に効果のある事業とするために、各地域から住民の方に参画していただくなどして、昨年度「第2期スポーツ推進計画」を策定させていただいた。</u></p> <p>町内では、それぞれの地域で地域特性を活かしたスポーツ、また全町域で取り組まれているスポーツなど、多様なスポーツがある。</p> <p>豊平地域においては、どんぐり北広島を地域で応援し支えるという機運の醸成が図られている。また、ソフトテニスも、中学生、高校生、社会人等全町で取り組まれており、交流人口の拡大にも繋がっている。</p> <p>町内各地域においては、ウィンタースポーツ、アウトドアスポーツ、ソフトバレーボール、野球、サッカー、体操等、地域に根ざした多様なスポーツが存在している。これらに対しても「みる」「ささえる」地域スポーツとして、<u>可能な支援を検討し実施することにより、スポーツによる地域の活性化を図っていくこととしている。</u></p>
<p>《後日意見》</p> <p><u>公共性のある事業推進を望む。実施するのであれば「町として今の時期に事業を実施する必要がある」という説明が果たせなければならぬ。</u></p> <p>この時代の大きな変革期、また国難時に補助金ありきではなく、きっちりとしたビジョンに沿った補助事業推進をしていかないと本当に大変な事になると心配している。</p> <p>一部の場所、一部の団体の我田引水に全て補助金ではなく、大きな額の借金はどうかと心配になる。こうしたことは本末転倒であり、町民感情を正に逆なでするようなことであると思う。</p> <p><u>庁舎内での横断的な職員間の議論等で偏った不公平感のある事業の抑制</u>をお願いする。</p>	<p>《後日回答》<u>本町全体に効果のある事業とするために、各地域から住民の方に参画していただくなどして、昨年度「第2期スポーツ推進計画」を策定させていただいた。</u></p> <p>当該計画の実施に当たっては、行政組織の横断的な取り組みが重要となる。従って、<u>行政内部での協議をしっかりと行い事業に取り組んでいく。</u></p>

質問・意見等	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>1. 令和2年度の取組と課題について</p> <p>・ 事業概要に示されている5つの事業、それぞれについて、取組内容と成果、課題を明確に示してほしい。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>1. 令和2年度の取組と課題</p> <p>○取り組み内容及び成果課題</p> <p>①スポーツコミッション活動安定化業務</p> <p>・ 事業内容…スポーツコミッション検討会議への参画、スポーツ推進計画策定委員会での講演、有識者を招へいしての講演会・研修会の開催、スポーツ庁との連携会議の調整実施、視察研修のコーディネート、アクティビティの実証実験のコーディネート等</p> <p>・ 成果と課題…スポーツコミッションとはなにか、どのような役割があり、何を期待するのか等について、関係者及び住民の方に対して理解を深めていただくためオンラインでの研修会を複数回実施した。実施後のアンケート調査は実施していないため理解の深まりは計測できていない。</p> <p>スポーツをキーワードとした地方創生事業で進めてきた取り組みについて、町内関係者の理解を深めていただくために、本町におけるスポーツによるまちづくりの目指すべき姿(将来像)について説明し共有化した。その将来像を実現するために、スポーツを通じた楽しさ・喜び・幸せを感じる身体活動を「きたひろスポーツ」通称「きたスポ」として位置づけ、これらの考え方を取り入れた「第2期北広島町スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p>②スポーツコミッション創設準備事業</p> <p>・ 事業内容…スポーツを基軸にまちづくりを推進することを目的としたシンポジウムの開催、女性アスリートを対象としたスポーツ合宿、誘致のためのセミナーの開催、スポーツボランティアの育成講習会の開催などの実施。ソフトテニス大会については、新型コロナウイルスの影響により中止とし、町内の中学生、高校生、社会人等10団体が出演するPRビデオの制作を実施。スポーツを目的とする観光地形成として、スポーツで来町された方を周遊させるため、観光協会、旅行会社と連携し、自然・文化・食などを取り上げたユーチューブ動画の制作配信。スキー場におけるグリーンシーズンの活用検討として、気球及びパラグライダーの可能性についての体験会を開催。</p>

・ 成果と課題…スポーツコミッション創設準備事業を受託していたどんぐり財団から、当町が存在する中山間地域におけるコミッション組織については、スポーツのみでは財源的に自立した活動が難しいことから、当町のコミッション組織には、スポーツ、観光、文化、食等を幅広くコーディネートする組織であることが要件となるとのことを提案された。これに伴い新たな組織を検討し、設立、そして運営していくためには、外部人材の登用が必要であるということで、どんぐり財団から人材を推薦していただき、今年度から外部人材を登用し、事業の推進を図ってきている。

### ③ スポーツをキーワードとしたまちづくりに関するアンケート調査業務

・ 事業内容…スポーツ推進計画に基づく「スポーツをキーワードとしたまちづくり」関連事業の実施効果を検証していくうえで、町民にもわかりやすい成果指標の設定のため、無作為に抽出した住民 1,000 名に対し調査票を送付し、465 名から回答があった。

・ 成果と課題…スポーツを普段している人の割合は、33.8%、していない人が63.0%で、2/3の方がしていないという結果であった。また、頻度については、週に2～3回が28.0%で最も高くなっている。次いで週に1度程度が22.9%、月に1～2回程度が20.4%となっている。よくするスポーツとしては、ウォーキングが46.5%、体操(ラジオ体操を含む)が24.2%、グランドゴルフが18.5%となっている。

「スポーツをキーワードとしたまちづくり」における各種関連事業に取り組むに当たっては、その成果として、交流人口の数値や住民の運動習慣の定着率を事業の実施効果として、捉えることとした。過去において、こうしたアンケート調査を実施した実績が無かったことから、運動習慣の定着率について把握できておらず、今後の「きたスポ」への取り組みに対する指標とし、効果検証を行うことが可能となった。

	<p>④スポーツ関連施設予約管理システム導入業務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業内容…町内の4運動公園及び4地域づくりセンターの 61 施設について、予約管理システムを導入した。</li><li>・ 成果と課題…インターネット上で施設の空き状況を確認することが可能となった。利用を開始し、十分な利用案内が出来ていない状況ではあるが、利用された方からは空き状況が確認しやすくなり便利になったとの声がある。今後はネット上での予約等が可能となるようアップデートを行うと共に、利用の普及啓発を行う必要がある。</li></ul> <p>⑤スポーツ施設等のバリアフリー化事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業内容…豊平運動公園内のテニスコートに隣接する屋外トイレのバリアフリー化改修を行うと共に更衣室を整備した。</li><li>・ 成果と課題…ソフトテニス大会や合宿において利用者からは、の洋式トイレ及び更衣室が充実したことで、利便性が向上したと評価されている。</li></ul>
<p>・ スポーツアクティビティについては、事業概要に記載がないので、どの事業に関するものであるのかを明確にしたうえで、内容と成果、課題を示してほしい。</p>	<p>・ 事業内容…アクティビティについては、各スキー場や芸北地域における実施可能な現地確認を実施すると共にパラグライダー及び熱気球の体験会を実施した。体験会には約50名の参加があった。</p> <p>・ 成果と課題…これらのアクティビティについて、参加者からはスキー場におけるグリーンシーズンの活用の可能性はあるとの意見が多くきかれた。課題としては、導入費用、指導者の確保、運営主体の確保等の課題がある。</p>

質問・意見等	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>2. 事業の効果について</p> <p>事業の目的をどれだけ達成できたかで評価するものである。</p> <p>“実施ができた”、“参加できた”は効果ではなく、実施したことの結果に過ぎない。さらに、“貢献するものとする”、“増加が期待できる”は、獲得した効果でもなく、結果でもないため、ここで記述する事柄ではない。重要な観点として、投下するコスト(資金だけでなく広い意味で)に対して、成果としての「交流人口の拡大、関係人口の増大」がもたらす利益が上回る必要がある。それが成し得るのか。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>交流人口及び関係人口の拡大を図ることを目的として、各種事業への取り組み実施している。スポーツコミッションの設立については、スポーツに関する各種事業に取り組み、その実現を目指すものである。また、予約システム導入や施設の改修整備については、利用者の利便性向上により、その実現を目指すものである</p> <p>この度の事業を通じて、今後「交流人口の拡大、関係人口の増大」につなげるものである。</p>
<p>《後日意見》</p> <p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>事業の目的達成のために、これから為さなければならないことを記述してほしい。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>スポーツによる地域活性化を実現するためには、スポーツと様々な地域資源を活用し、交流人口及び関係人口の拡大に向けた取り組みを行うことが重要であると考えている。そのためには、スポーツだけではなく、観光、文化、食等を幅広くコーディネートする新たなプラットフォームとなる組織を構築する必要がある。</p> <p>その組織の目指すべき姿や担うべき役割を明らかにして、スポーツ協会や観光協会及び関係事業者に対して「スポーツによるまちづくり」や「きたスポ」の考え方を説明させていただき、理解を得ながら組織の構築を進めていく。</p> <p>また、住民の皆様にも「きたスポ」の考え方を理解していただけるよう情報発信や普及啓発に努めて、幸福感・満足感を感じられる町を目指す。</p>

## ■担い手育成総合事業

質問・意見等	回答、補足説明
<p>重要業績評価指標(KPI)のうち、「3. 地域活動団体における活動実施件数の増加」について、事業の目的に繋がっている活動なのかどうかは確認できているか。件数とカウントするときに、活動内容を確認しているか。件数には事業の目的に繋がらないものも入ってイヤないだろうか。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》活動団体の目的と実際の活動内容を確認し、それが地域活性化に資するものと判断されたものを件数としてカウントしている。</p>

### (3)その他 意見・感想等

意見・感想等
<p>地元での買い物を奨励する割引券を発行する自治体もあるが、町ではこうした方策をしていないし、要望しても返答がない。農林業だけが主幹産業ではない。企業がほったらかしにされていると感じている。</p>
<p>内部評価と外部評価のところで、どう思って具体的な取組がどの程度できて、こういう評価になったということにしていけないと足踏み状態になってしまう。また課題を見つけてやろうということでは、なかなか成果が見えにくい。</p>
<p>住んでいる人間が夢を持っていたいということであれば、解決したことが表に出たほうがいい話になるのだろう。</p>
<p>豊平で生まれ育ち、結婚し、今も住んでいるが、私たち世代で不安に思っているのは将来子どもを育てていくこと。不安に感じることは、やっぱり人口は減っていくこと。実際に買い物をする場も減り、不便で不安な面も出てくる。</p>
<p>私たちが「ここが良い」という声が、一番の説得力となる。いろんな政策があり、新しい人を呼ぶこともとても良いと思うが、住んでいる人たちが「イイな」、と言える町になることが一番大事だと思う。</p>

議事2 第2次北広島町長期総合計画 骨子(案)について

これまでの後期基本計画の策定に向けた取組結果を踏まえ、事務局から第2次北広島町長期総合計画 骨子(案)を提示しました。前期基本計画からの主な変更点はつぎのとおりです。なお、後期基本計画の具体的な内容については、今後、作成に取りかかってまいります。

主な変更点
<p><b>【総合計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化を記載</li> <li>・住民アンケートおよび団体ヒアリングの結果の更新</li> <li>・計画の取組状況と主要課題において各事業担当課からのヒアリング結果の掲載</li> </ul> <p><b>【基本構想】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めざすまちの将来像および重点方針を、昨年までの取組・議論をもとに更新</li> <li>・計画の体系区分を4段階から3段階(施策分野、基本的な方向性、施策の展開)に簡素化して表示</li> <li>・基本的な方向性について、スポーツを通じたまちづくりの推進、地域福祉の推進を掲出、内容を統廃合</li> </ul>

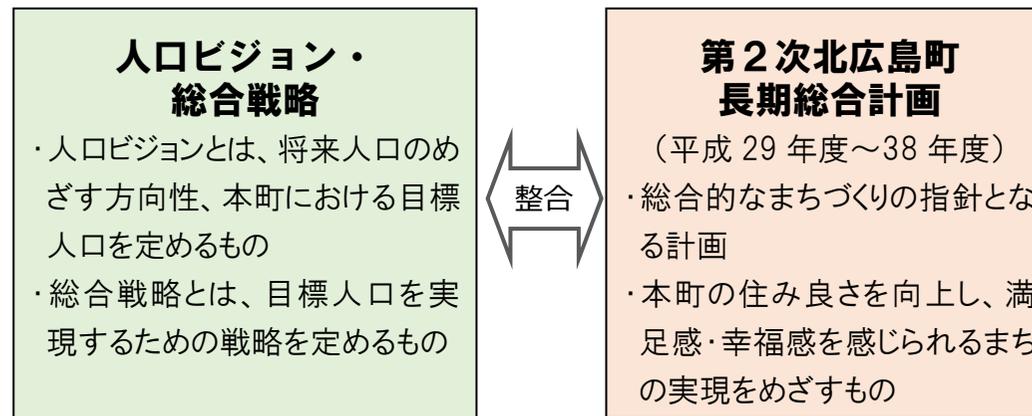
委員からの意見とそれに対する回答、補足説明

■ 少子高齢化・人口減少社会への対応について

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>北広島町の人口推移をみると2020年が17,816人から15年後2024年12,969人になると予想されている(社人研推計2018)。人口が約半分になる。今は、予測よりも減少幅が少なく町の行政施策が効果を上げていると考えられる。しかし、現在の出生数をみると芸北・大朝・豊平は、一桁台になっており、千代田についても合併当時(105人)より半分になっている。また、65才以上人口割合の芸北・大朝・豊平については、約50%になっており人口減少がこの10年間に急速に進むことが考えられる。10年間を見据えた計画が必要になってくるがどのような計画を盛り込んでいくように考えるか。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>人口減少や少子高齢化に伴う課題として、防災上の安全の確保や地域行事の開催など生活を支える地域コミュニティの維持が困難となることが懸念される。そのほか、地域経済への影響や教育、文化の伝承、公共施設の維持管理・更新等についても、人口減少・少子高齢化を見据えた今後のあり方を検討していく必要がある。</p> <p>第2次長期総合計画後期基本計画(計画期間:令和4年度から令和8年度)の策定にあたり、北広島町の現状と課題を踏まえ、基本構想(計画期間:平成29年度から令和8年度)の見直しも含めて検討していきたい。</p>

	<p>(参考)</p> <p>人口減少と地域経済縮小の克服を目指し、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定した「北広島町人口ビジョン」では、2040年に14,981人、2060年に12,470人という将来展望を示している。</p> <p>&lt;めざすべき将来の方向&gt;</p> <p>(1)「北広島町での暮らし」を選択する定住者の増加</p> <p>(2)「結婚・出産・子育ての希望」をかなえられる環境の整備</p> <p>(3)高齢化・過疎化に対応した、生活機能を維持できる地域づくり</p> <p>(4)関係人口の創出・拡大による都市部とのつながり強化</p> <p>(5)新しい時代の流れを力にする Society5.0、SDGs の推進</p>
--	--

【参考資料】第2次北広島町長期総合計画より抜粋



■ 高度情報化社会への対応について

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>北広島町では情報通信網の整備、光ファイバーの幹線整備が今年度末に完了する。このことにより、北広島町の情報通信社会がどうあるべきか示す具体的な計画が必要ではないか。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>現在、北広島町では同軸ケーブル方式による情報通信網であるきたひろネットにより、情報通信網を構築しているが、整備後約14年が経過し機器更新時期を迎えている。</p> <p>加えて、コロナ禍などの影響を受けてテレワークや遠隔教育への対応など生活環境の急速な変化により、情報通信の高速化を望む声が高まっている。</p> <p>そうした中、北広島町では光高速通信網の整備を国や県の補助金やコロナ対策交付金などを有効に活用することにより、町の財政負担軽減を図りながら整備を行っている。</p> <p>令和3年4月に策定した「北広島町行政サービスDX戦略」における8つの重点課題でも、「光ブロードバンドによる情報通信網を有効活用した取組の推進」を掲げており、町内通信環境の向上はもちろん、加えて医療・福祉、農業、地域交通、子育て・教育などのあらゆる分野において町民の利便性向上や豊かな暮らしの創造へ向け、民間企業や外部デジタル人材のノウハウ活用や連携などにより調査・研究・実証実験等に取り組んでいる。</p>

■ 基本構想について

質問・意見	回答、補足説明
<p>前期では目標人口の前にブランドの確立のページがあったが、今回無くなっている。経緯などがあれば聞きたい。</p>	<p>当時は、まちづくりのブランド化の流行的なところもあったので入れていた。この4年間思ったよりもブランド化が進まなかったということから、一旦リセットして考え、大きく入れていくものではないのではないかと判断した。</p> <p>まちづくり総合委員会において再度入れた方が良いというご意見であれば再掲出も検討したい。</p>

<p>インタビュー型ワークショップ全体のとりまとめとして、分野セグメント「子育て世代」のところで出ているのは、『北広島町ってコレ』(とにかく自然と隣り合わせで子育てできる環境が魅力 自然や人をしっかり活かしたブランド化を！！)という意見があったのではないかと思う。</p>	<p>その通りの意見だったかと思う。半面、北広島町の特徴が旧町単位で独立しており、全町でこれというものが言いにくいのではという意見もあった。いろいろな特徴がある町として、それはそれで特徴であると思う。</p>
<p>以前のときのブランドは、野菜のブランドなどモノに対するブランド化のイメージが強かったのではないか。今回は北広島町全体としてのイメージとしてブランドということを言われているのではないか。再度イメージの共有が必要なのかもしれない。</p>	

■ やすらぎと便利さを感じるまちづくり

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》            今回の豪雨災害で千代田の冠川と出原川の周辺に大きな災害が出ており、何年かに一度は大きな災害が起きている。具体的に計画を上げて整備をする必要があるのではないか。</p>	<p>《後日回答》            8月の豪雨により、多くの被災箇所を抱えた冠川流域、出原川流域、吉木川流域などは平成11年6月豪雨や平成18年9月豪雨の際にも甚大な被害を受けており、度重なる災害発生となったことから、河川管理者である国に再度災害防止に向けた改良復旧事業の積極的な推進について令和3年8月豪雨災害に対する緊急要望を行った。            再度の災害を防止するため、災害復旧事業のみでは十分な効果を期待できない場合において、災害復旧費に改良費を加え、復旧事業に合わせて被災施設またはこれを含めた一連の施設を改良する、改良復旧事業を積極的に取り入れることができるよう、採択基準の柔軟な適用や緩和等、格段の配慮をお願いしている。</p>

■ 健全な行財政運営によるまちづくり

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》            質の高い行政サービスが低コストで提供され、まちづくりの施策が効果的に実施されることを期待する。どのような計画を考えるか。</p>	<p>《後日回答》            前期基本計画においては、経営健全化と実質的な住民サービスの水準向上を図るため、各事業においては適切な経営計画を策定し、持続可能な運営規模等を明確にするなど、住民の理解と協力を得ながら具体的な取組を展開することを基本的な方向性としてきた。今後も引き続き、町民と行政による協働のまちづくりとあわせ、「住民のための行財政運営」を施策分野として掲げ、施策の展開に結び付けたい。</p>

■ その他の質問・意見等

質問・意見

長期総合計画 骨子(案)において、黄色での表示が全く見えないという意見があった。実際見えにくいと思うので対応していただきたい。

元々総合計画には計画策定で重視する主な視点として、「住民参加による策定と、策定後の住民との協働を促進する計画づくり」を記載している。施策分野Ⅴ「住民と行政が一体となって未来を創造するまち」に関わってくる内容ではあるが、住民との協働に関する部分が手薄に感じた。次の後期計画は反映していくべきだと思う。政策・方針決定過程の女性の参画割合など、あくまで男女共同参画について書かれているが、こうした視点で協働というのを見ていかないといけないと思う。